

金派名 無所屬 高松太樹

[illegible]

出張命令書兼支出調書

支出番号	第 26 号	会派代表者	経理責任者
	5 年 11 月 21 日 起票		
支出科目	調査旅費		
支出額	¥28,890		

1 出張者内訳	出張者氏名	旅費 (円)	確認等
	1 高松大樹	28,890	
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
2 用務先	益城町		
3 出張期間	5 年 11 月 21 日 から 5 年 11 月 22 日 (: ~ :) (1 泊 2 日)		
4 用務内容	先進建設・防災・減災技術フェアin熊本2023		
5 特記事項			

総務課長 殿

会派名

無所属

氏 名

高松 大樹



旅 費 (変 更) 計 算 依 頼 書

下記のとおり調査研究活動のため出張いたしますので旅費計算をお願いいたします。

記

日 程	令和5年11月21日 ～ 令和5年11月22日
出張者	高松 大樹
用務地	益城町 ① (11月21日 12:50～13:50) ② (11月21日 14:20～15:20) ③ (11月21日 15:30～16:30) ④ (11月22日 10:20～11:20) ⑤ (11月22日 12:50～13:50) ⑥ (11月22日 14:30～15:30)
用務内容	先進建設・防災・減災技術フェアin熊本2023 ①「平成28年4月熊本地震の対応と教訓～市民力・地域力を結集した地域防災を目指して～」 ②「豪雨時の状況認識と避難意識の時間的变化」 ③「トヨタ自動車九州30年の歩みとTeam Kyushuへの期待」 ④「熊本城～熊本地震からの復興～」 ⑤ 熊本地震の経験を活かした災害対応力の強化について ⑥「線状降水帯」と二つの気象情報～ 線状降水帯の予測の現状と今後の気象庁の取り組み～

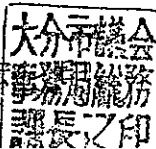
旅 費 計 算 書

経 路	11月21日 大分-新水前寺-味噌天神-グランメッセ前 11月22日 グランメッセ前-味噌天神-新水前寺-大分
旅費内訳	交通費 8,790 円 宿泊料 13,500 円 日 当 6,600 円 計 28,890 円

上記のとおり通知いたします。

令和5年11月10日

総務課長 岡村 吉宏



		日当	宿泊	乗換案内の 交 通 費
11/21	大分市→益城町	3,300	13,500	5,560
11/22	益城町→大分市	3,300		3,230
		6,600	13,500	8,790

一人当たり旅費合計

28,890

※用務地の益城町内はJRの駅がないため、隣接地の熊本市の直近の駅
新水前寺駅から用務地まではバス利用とする。(片道370円)

乗換案内 Biz

Copyright © 2023 Jorudan Co., Ltd. All Rights Reserved. ヘルプ

[詳細路線図](#)
[簡易路線図](#)
[バス路線図](#)
[住所](#)
[主要施設](#)

大分

新水前寺

駅 3

駅 4

駅 5

駅 6

検索

駅名リセット

駅名入れ替え

2023年11月

21日

8時 0分

●発 ○着

時刻表も検索 ☒往復割引 ☒グリーン席 ☒同一バス会社検索 ☐

大分 ~ 新水前寺 2023年11月21日 08時00分発

決定

経路	評価	時間	切符/IC	乗車回数	距離
1 早 安 楽 飛 寝	8:07-11:14(3時間07分)	5,190円	0回	142.8km	
2 早 安 楽 飛 寝	9:13-14:13(5時間00分)	2,860円	3回	142.8km	
3 早 安 楽 飛 寝	8:39-12:12(3時間33分)	3,700円	0回	—	

経路1

経路 定期代

経路	切符/IC	料金	乗車位置	距離	情報
11/21 大分					
8:07-11:14 187分	九州横断特急2号(熊本行) 時刻表	2,860円	指定席 2,330円	142.8km	
新水前寺					

↓ 徒歩5分

11:29 味噌會天柿

↓ 空港リムジンバス 370円

11:48 グランメッセ前

5,560円

**乗換案内
Biz.**

Copyright © 2023 Jorudan Co.,Ltd. All Rights Reserved. ヘルプ

[詳細路線図](#)
[簡易路線図](#)
[バス路線図](#)
[住所](#)
[主要施設](#)

新水前寺

大分

駅 3

駅 4

駅5

駅 6

檢 索

駅名リセット

駅名入れ替え

2023年11月

22日 ▼

16時 0分

◎ 癸 ○ 着

時刻表も検索 ☒

往復割引 ☐

指定席 ▼

同一バス会社検索 ☐

新水前寺 ~ 大分 2023年11月22日 16時00分発

決定

路徑	評價	時間	切符 / IC	乘換	距離
----	----	----	---------	----	----

~~1 早安楽飛寝 9:19-12:20(3時間01分) 5,890円 0回 142.8km~~

2. 早安樂飛寝 17:43-22:12(4時間29分) ~~2,860~~円 3回 142.8km

~~3 早安案飛寝 17:43-21:20(3時間37分) 3,700円 0回~~

經路2

15253 777x20
11. 寄老467ンバズ 370日

経路	定期代
----	-----

16→10 経路		切符/IC	料金	乗車位置	距離	情報
11/22 新水前寺						
17:43-18:11 28分	豊肥本線(肥後大津行)	JR 時刻表	2,860円		17.4km	
(9分) 肥後大津						
18:20-19:16 56分	豊肥本線(宮地行)	JR 時刻表	↓		30.8km	
(44分) 宮地						
20:00-20:44 44分	豊肥本線(豊後竹田行)	JR 時刻表	↓		34.6km	
(3分) 豊後竹田						
20:47-22:12 85分	豊肥本線(大分行)	JR 時刻表	↓		60.0km	
大分						

©2010熊本県くまモン

企画展

in熊本

2023年

会期

2023年
11/21 火
10:00
-17:00

火
10:00
-17:00

22 **水**
10:00
-16:00

会場

グランメッセ熊本

照本県上益城郡益城町福音1010

益城熊本空港IC 随接



關催委員 委員長(原本兼知事)
蒲島 郁夫



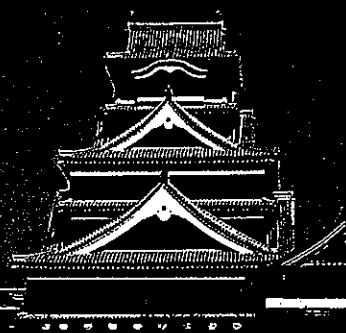
西一中

九州地区最大級の 建設・防災展示会

CPD/CPDS単位認定も行います。

詳細はホームページをご覧ください。

入場無料(登録制)



熊本は
人流・物流の
ハブになる。



菊陽町で建設中のJASM（写真：JASM提供）

2022年11月9日 周五 武国

2022年 經濟合場照景

2022年 展示会 巡回展

グランメッセ熊本

【構成:熊本県・熊本市・一般社団法人地域産業活性協会】

(指定管理者 熊本産業文化振興株式会社)

[illegible]

事前来場登録はこちら▼



【問合せ先】 開催委員会事務局
(一社)地域産業活性協会

TEL (052) 733-7321 Email: info@s-kumamoto.jp

出展者名	主な出展内容
日本経済新聞社	「日本経済新聞」の歴史と発展、最新の経済情報、デジタル化の進展など。
読売新聞社	「読売新聞」の歴史と発展、最新の社会情報、デジタル化の進展など。
朝日新聞社	「朝日新聞」の歴史と発展、最新の国際情報、デジタル化の進展など。
毎日新聞社	「毎日新聞」の歴史と発展、最新の国内情報、デジタル化の進展など。
産経新聞社	「産経新聞」の歴史と発展、最新の政治情報、デジタル化の進展など。
日本放送協会	NHKの歴史と発展、最新の放送技術、デジタル化の進展など。
テレビ東京	テレビ東京の歴史と発展、最新のエンターテインメント情報、デジタル化の進展など。
テレビ朝日	テレビ朝日の歴史と発展、最新のニュース情報、デジタル化の進展など。
テレビ大阪	テレビ大阪の歴史と発展、最新の地域情報、デジタル化の進展など。
テレビ西日本	テレビ西日本の歴史と発展、最新の関西情報、デジタル化の進展など。
テレビ北海道	テレビ北海道の歴史と発展、最新の北海道情報、デジタル化の進展など。
テレビ青森	テレビ青森の歴史と発展、最新の青森県情報、デジタル化の進展など。
テレビ岩手	テレビ岩手の歴史と発展、最新の岩手県情報、デジタル化の進展など。
テレビ宮城	テレビ宮城の歴史と発展、最新の宮城県情報、デジタル化の進展など。
テレビ秋田	テレビ秋田の歴史と発展、最新の秋田県情報、デジタル化の進展など。
テレビ山形	テレビ山形の歴史と発展、最新の山形県情報、デジタル化の進展など。
テレビ福島	テレビ福島は最新の福島県情報、デジタル化の進展など。
テレビ茨城	テレビ茨城の歴史と発展、最新の茨城県情報、デジタル化の進展など。
テレビ栃木	テレビ栃木の歴史と発展、最新の栃木県情報、デジタル化の進展など。
テレビ群馬	テレビ群馬の歴史と発展、最新の群馬県情報、デジタル化の進展など。
テレビ埼玉	テレビ埼玉の歴史と発展、最新の埼玉県情報、デジタル化の進展など。
テレビ千葉	テレビ千葉の歴史と発展、最新の千葉県情報、デジタル化の進展など。
テレビ東京	テレビ東京の歴史と発展、最新の東京都情報、デジタル化の進展など。
テレビ神奈川	テレビ神奈川の歴史と発展、最新の神奈川県情報、デジタル化の進展など。
テレビ静岡	テレビ静岡の歴史と発展、最新の静岡県情報、デジタル化の進展など。
テレビ愛知	テレビ愛知の歴史と発展、最新の愛知県情報、デジタル化の進展など。
テレビ岐阜	テレビ岐阜の歴史と発展、最新の岐阜県情報、デジタル化の進展など。
テレビ富山	テレビ富山の歴史と発展、最新の富山県情報、デジタル化の進展など。
テレビ石川	テレビ石川の歴史と発展、最新の石川県情報、デジタル化の進展など。
テレビ福井	テレビ福井の歴史と発展、最新の福井県情報、デジタル化の進展など。
テレビ山梨	テレビ山梨の歴史と発展、最新の山梨県情報、デジタル化の進展など。
テレビ長野	テレビ長野の歴史と発展、最新の長野県情報、デジタル化の進展など。
テレビ新潟	テレビ新潟の歴史と発展、最新の新潟県情報、デジタル化の進展など。
テレビ北陸	テレビ北陸の歴史と発展、最新の北陸県情報、デジタル化の進展など。
テレビ金沢	テレビ金沢の歴史と発展、最新の金沢市情報、デジタル化の進展など。
テレビ福井	テレビ福井の歴史と発展、最新の福井県情報、デジタル化の進展など。
テレビ滋賀	テレビ滋賀の歴史と発展、最新の滋賀県情報、デジタル化の進展など。
テレビ京都	テレビ京都の歴史と発展、最新の京都市情報、デジタル化の進展など。
テレビ大阪	テレビ大阪の歴史と発展、最新の大阪府情報、デジタル化の進展など。
テレビ和歌山	テレビ和歌山の歴史と発展、最新の和歌山県情報、デジタル化の進展など。
テレビ奈良	テレビ奈良の歴史と発展、最新の奈良県情報、デジタル化の進展など。
テレビ和歌山	テレビ和歌山の歴史と発展、最新の和歌山県情報、デジタル化の進展など。
テレビ徳島	テレビ徳島の歴史と発展、最新の徳島県情報、デジタル化の進展など。
テレビ高松	テレビ高松の歴史と発展、最新の高松市情報、デジタル化の進展など。
テレビ香川	テレビ香川の歴史と発展、最新の香川県情報、デジタル化の進展など。
テレビ愛媛	テレビ愛媛の歴史と発展、最新の愛媛県情報、デジタル化の進展など。
テレビ高知	テレビ高知の歴史と発展、最新の高知県情報、デジタル化の進展など。
テレビ福岡	テレビ福岡の歴史と発展、最新の福岡県情報、デジタル化の進展など。
テレビ佐賀	テレビ佐賀の歴史と発展、最新の佐賀県情報、デジタル化の進展など。
テレビ大分	テレビ大分の歴史と発展、最新の大分県情報、デジタル化の進展など。
テレビ熊本	テレビ熊本の歴史と発展、最新の熊本県情報、デジタル化の進展など。
テレビ鹿児島	テレビ鹿児島の歴史と発展、最新の鹿児島県情報、デジタル化の進展など。
テレビ沖縄	テレビ沖縄の歴史と発展、最新の沖縄県情報、デジタル化の進展など。

 F 防災服・防災食料・住宅及び感染症対策

第CIL(同)アイデアフォーム	避難所用熱熱マットやヘルメット用などの熱中症対策
ミズノ(株)	防災服、防災食料
G 地域防災・防火・避難・救助対策	
(公財)阿蘇火山博物館・阿蘇山観光防災・教育協議会	阿蘇中岳火口カメラによる観光防災と教育
天草油田電機(株)	P 初期投資ゼロで施設の再・蓄・省エネを実現
株式会社・アイ・シー	災害時 電気、電池未使用の地震解説ボックス
株式会社 装達	自然災害に強い防災自動ドア電気を使わない
熊本放送	デジタル放送・アプリによる防災情報提供
株式会社KMTec	停電対策に!安心の国産ポータブル蓄電池
第三和製作所	防水で考える避難生活、救助訓練、救命用品などの紹介
島田商事(株)/株式会社ミ	災害で避難!ルーフトントとベドキート
株式会社	災害時に使える移動式飲料水精製機の製造販売
(公社)日本技術士会九州本部	防災・減災・震災復興支援活動の紹介
はあもに管理運営共同企業体	男女共同参画の視点に立った防災について
株式会社マリリン	津波シェルター・パンクしない水害救助艇
株式会社サカ工業	災害支援車、コックムレスキュー
H BCP・エネルギー	
あいおいニッセイ同和損害保険(株)熊本支店	リアルタイム被害予測アプリ cmap 提供
株式会社立電	最速な安心と安全を作り出すリチウム製品
コンボルト・ジャパン(株)	国内初!防災型一体型・コンボルト型夏外燃型タンク
東亜道路工業(株)	P 太陽光発電施設システム Wattway
I ! 研究・技術シーズ(学術機関・公設研究所など)	
熊本県工業高等学校校長会	県立工業技術高等学校10校の紹介、防災・減災教育の取組
熊本県立宇土中学校・宇土高等学校	ペーパーブリッジ製作でインフラ・防災教育
熊本県立熊本高等学校	課題研究のポスター 掲載

熊本県立熊本高等学校 地域の魅力をDX・AIを活用し、伝える

熊本県立大学	緑の流域治水研究の取組み
熊本県立八代農業高等学校	八代農業の取り組みと新学科紹介
熊本高等専門学校	防災教育の取組み・球川川水害復興支援
熊本サイエンスコンソーシアム (事務局：熊本県立第三高等学校)	STEAMによる防災のNEWアイデア
熊本大学くまもと水循環・ 減災研究教育センター	多様な重きが有る熊本創生に向けた取組
熊本保健科学大学	保健医療系大学の防災・減災に関する教育研究
(一社)地盤品質判定士会	宅地の不安や疑問は地盤品質判定士へ
素戔嗚大学	防災活動・災害時避難行動支援システム
(一社)日本応用地質学会 九州支部	災害碑が物語る災害履歴と未来への伝承



J国・自治体

熊本県	災害圈日に関する紹介、FCVの展示
熊本市	熊本市における防災等への取組について
熊本地方気象台	総括時水害の予測精度向上と気象情報の改善
経済産業省九州経済産業局	企業の事業継続力強化を支援します
経済産業省九州産業保安監督部	九州地域の産業保安の確保が使命です
国土交通省九州地方整備局	防災・災害対応のインフラDXの取り組み
自衛隊熊本地方協力本部	災害派遣で活躍する装備品

農林水産省九州農政局

益城町	熊本地震から7年 今年も開催(益城町)の力を伝える(益城町)
企画展 人流・物流 生産性向上フェアin熊本 出展者一覧(分野別50音順)	
 K 物流 包装技術 のGX・生産性向上に寄与する製品・技術・サービス	
㈱ウッドプラスチックテクノロジィ/グリーンプラ(株)	PPバンドを水平リサイクルした再生PPバンド
九州旅客鉄道(株) 熊本支社	西九州新幹線と列車物流サービスの紹介
(一社)熊本県ドローン産業推進協議会	熊本でのドローン産業の活用
熊本日野自動車(株)	グリーン走行を実現する小型BEVトラック
四恩システム(株)	屋外でも走行可能なAGVの展示
トヨタL&F熊本(株)	物流ソリューションプロバイダー
 L 産業・観光分野の「人流」を促す製品・技術・サービス業	
天草エアライン	天草と福岡・熊本・大阪を結ぶ熊本の翼
くま川鉄道(株)	熊本県南を走るローカル鉄道です
熊本国際空港(株)	生まれ変わった阿蘇くまもと空港
阿蘇林道酒場	球根祭りの中で最も古く最も小さい蔵元です
(一社)人吉温泉観光協会	人吉球磨地域の観光便利情報はこちら
人吉球磨地域観光推進協議会	人吉球磨地域の観光PR

 **は出展者プレゼンテーションを行います。**

P は出展者プレゼンテーションを行います。

1 10:15~11:15 セミナー会場①
**災害に強いまちづくりを目指して
～創造的復興に向けたにぎわいづくりについて～**
益城町 町長 西村 博則氏

2 10:20~11:20 セミナー会場②
自衛隊災害派遣の実情について
自衛隊 熊本地方協力本部 本部長 笹島 昭佳氏

3 10:30~11:30 セミナー会場③
事業継続のためのサイバーセキュリティ対策
①事業継続のためのサイバーセキュリティ対策の必要性和施策の紹介
経済産業省九州経済産業局 地域経済部 情報政策課 デジタル推進室長 春岡 浩子氏
②サイバーセキュリティの実情と今やるべきこと
熊本県デジタル戦略推進課 デジタルセキュリティ推進室長 奥 新一郎氏

4 11:35~12:35 セミナー会場①
緑 流域治水の取組み
熊本県企画振興部 球磨川流域復興局 政策監 中川 太介氏

5 12:50~13:50 セミナー会場③
**平成28年4月熊本地震の対応と教訓
～市民力・地域力を結集した地域防災を目指して～**
熊本市 政策局 危機管理防災部 危機管理課 主幹 大塚 和典氏

6 13:00~14:00 セミナー会場①
九州地方整備局におけるインフラ分野のDX推進
国土交通省九州地方整備局 建設情報 施工高度化技術調査官 中司 哲夫氏

7 13:10~14:10 セミナー会場②
「新生・シリコンアイランド九州」の実現に向けて
経済産業省 九州経済産業局 地域経済部 情報政策課 課長 田口 賀徳氏

8 14:10~15:10 セミナー会場③
防災訓練手法セミナー～BCP訓練方法について～
MS & AD インターリスツ総研㈱ RM4 部 BGM1 フループ 上席コンサルタント 尾池 吉保氏

9 14:20~15:20 セミナー会場①
①豪雨時の状況認識と避難意識の時間的変化
熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 教授 柿本 竜治氏
②介形虫からわかる沿岸域の災害の履歴
熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授 田中 源吾氏

10 14:30~15:30 セミナー会場②
**人口減少社会における技術分野の人材育成/
地域に貢献する技術**
(公社)日本技術士会九州本部 防災委員会 (株)セルコン 緒方 正隆氏

11 15:30~16:30 セミナー会場③
トヨタ自動車九州30年の歩みとTeam Kyushuへの期待
熊本県産業政策アドバイザー (元トヨタ自動車九州㈱ 代表取締役副社長) 馬場 貞仁氏

12 15:40~16:40 セミナー会場①
多発する斜面災害に挑む施工管理者を支援するプラットフォームの提案
(公社)日本技術士会九州本部 部長 小島 浩二氏 清崎 淳子氏

21 出展者プレゼンテーション ■出展者プレゼンテーションは、聴講整理券の発行はありません。会場へ直接お越し下さい。受付にて名刺をご提出していただく場合がございます。

セミナー会場④			
No.	時間区分	テーマ	出展者名 小間番号
1		レンタル+コンサルティングで現場の課題を共に解決～「提案」するレンタルで生産性向上～	(株)アクティオ A10 S6
2	11:00	ハイエンドグリーンレーザー RIEGL VQ-840Gにおける水中計測	(株)エアフォートサービス九州営業所 A19
3	11:30	エポコラムTaf工法とICT対応管理装置【「epo-Live」システム】について	エポコラム協会九州支部 A6
4	13:00	配筋検査を3次元データで大幅に省力化ー「Modely」のご紹介	DataLabs(株) A25
5	13:30	設備監視システムについて	(株)パーネット A9
6	14:00	斜面災害リスクに備えるための三次元点群データの利活用	国際航業(株) A14
7	14:30	ガラス発泡リサイクル資材【スーパーソル】の活用	ガラス発泡資材事業(協同) A17
8	15:00	短時間・軽量・簡単になった3Dレーザー スキャナーで建設現場や工場を安全・ワンマンで一気DX化	ライカジオシステムズ(株) A27
9	15:30	ケーブルクレーン自動運転システム	西松建設(株) A5
10	16:00	アラミド繊維製FRP材を用いた土木・建築構造物の補修・補強技術および実績紹介	(株)関電工/ (株)竹入製作所 A7

セミナー会場⑤			
No.	時間区分	テーマ	出展者名 小間番号
D1	10:45	KS水管理システムで安心・安全な施設管理をご提案!	開成工業(株) D24
D2	11:15	杭式土留対策工「アーバンガード」の紹介	(株)プロテックエンジニアリング九州支店 D27
D3	11:45	動力1つで空中建機。ブレーキと倍力システムを活かし架線をシンプルにする	森の機械(株) D31
D4	13:15	建築耐震「安震ブロック」・「ASOFR工法」と拡張型コンテナハウス「広がルーム」	(株)新井組 D37
D5	13:45	高耐久保護シート「防災イエローシート」のご案内 NETIS登録番号 QS-200048-A	(株)トータル環境/ (株)HINATA D38
D6	14:15	浸水被害防止における止水板の有効性	(株)三協ゴム/ KTX(株) D39
D7	14:45	インプラント工法による防災・国土強靱化	(一社)全国圧入協会 D55
D8	15:15	流域治水プロジェクトに資する鋼構造技術・工法	日本鉄鋼連盟 D21
E1	15:45	既設RC構造物の後施工せん断補強技術	ポストヘッドパー工法研究会 E2

A DX (デジタルトランスフォーメーション)
D 防災・安全対策 E 地震・地盤対策

●CPD・CPDS 単位認定 入場時間の管理を行います。滞在時間に基づき受講証明書をお渡しします。認定単位数、ユニット数などの詳細はホームページでご確認ください。 ※CPDは土木学会技術推進機構へ申請を行います。

企画展示 排水ポンプ車 協力:九州建設局 JB

13 10:15～11:15 セミナー会場①
熊本の防災訓練～災害から県民を守るための県の取り組み～
熊本県 知事公室 危機管理防災課 危機管理防災企画監 三家本 勝志氏

14 10:20～11:20 セミナー会場②
熊本城～熊本地震からの復興～
熊本城総合事務所 復旧整備課 課長 岩佐 康弘氏

15 10:30～11:30 セミナー会場③
BCP・事業継続力強化セミナー

①中小企業を巡る災害・経営リスクの実情と政府の対策
経済産業省 九州経済産業局 産業部 経営支援課
経営力向上室 事業継続力強化係長 杉本 修美氏

②事業継続力強化計画策定の基礎とポイント
独立行政法人中小企業基盤整備機構 中小企業アドバイザー(経営支援) 宇野 裕氏

16 11:35～12:35 セミナー会場①
農地・農業用施設と流域治水
～農地・農業用施設を活用した流域治水の取組と効果について～
農水省 九州農政局 農村振興部 洪水調節機能強化対策官 西尾 徹氏

17 11:40～12:40 セミナー会場②
①防災・減災に向けた取り組みと熊本地震の痕跡からの学び
熊本大学 くまもと水循環防災研究教育センター 教授 松村 政秀氏

②構造物内部非破壊計測法
～新たな中性子線非破壊計測技術が拓く施工基準～
理化学研究所 量子工学研究センター 中性子ビーム技術開発チームリーダー 大竹 淑恵氏

●九州地方整備局パネル展示
国土交通省九州地方整備局 7F
[災害対応に関するパネル展示]
[防災・災害対応DXの取組及びデジタルDXの取組]

●益城町現地案内
21日午後1回・22日午前1回・午後1回を予定
益城町ブース(J10)にて受付を行います。

●学生ウェルカモンブースの設置
学生の皆さんの疑問・質問に現役技術者・専門家が
お答えします。お気軽にお立ち寄りください。

22 出展者プレゼンテーション ■出展者プレゼンテーションは、聴講整理券の発行はありません。会場へ直接お越し下さい。
受付にて名刺をご提出していただく場合がございます。

No.	時間区分	テーマ	出展者名	小間番号
1		亜硝酸リチウムの活用でコンクリート構造物の健康寿命を延ばす	(一社)コンクリートメンテナンス協会	B4
2	11:00	仮設山留不要の自立式擁壁	PC一壁体工業会	B5
3	11:30	エヌエスピーシーW工法	太洋基礎工業(株)	B11
4	13:00	RBPウォール工法	RBPウォール工法協会	B12
5	13:30	15分で泥を搬出！ 高含水泥土改良剤MTシリーズ	佛森環境技術研究所	B14
6	14:00	スーパーウェルポイント工法及び関連技術	(株)アサヒテクノ	B15
7	14:30	安心して鋼矢板を引抜けるオンリーワン工法 —GEOTETS(ジオテツ)工法	(協組)Masters GEOTETS工法研究会	B9
8	15:00	環境にやさしい景観に考慮した工法	景観壁体研究会	B10

No.	時間区分	テーマ	出展者名	小間番号
G1	10:45	初期投資ゼロで工場・公共施設の再・省エネを実現	天草池田電機(株)	G7
H1	11:15	太陽光発電舗装システム Wattway	東亜道路工業(株)	H4
C1	13:15	土木構造物の長寿命化を実現する [RCガーデックス土木用]	日本躯体処理(株)	C7
C2	13:45	[Made in 新潟 新技術普及・活用制度] 新潟県がバックアップする土木・建築の新技術 (①盤ぶくれた共用トンネル補修に用いるPCインパート、②壁面暗渠排水工法と芝生の直播被覆工法)	[Made in 新潟 新技術普及・活用制度] ①日本サミコン(株)、②(有)アイ・ピー・エムグリーンステージ	C17
C3	14:15	水の循環利用による節水工事や災害対策に利活用いただける製品のご案内	(株)Waqua	C14
C4	14:45	塩害に強い猪進行抑制防水型蛍光クリア樹脂防食塗装システム[クリスタルジュエリー]	三重塗料(株)	C20
D9	15:15	早期の水害対策にオールプレキャストL型パラペットブロックのご提案	昭和コンクリート工業(株)	D4

設計・施工 C 維持管理・保全環境 D 防災・安全対策 G 災害対策 H BCP・エネルギー
I 講演会・出展者プレゼンテーションのテーマ、講師、及び展示物などは、予告なく変更・中止する場合がございます。



旅費精算兼旅行命令変更書

支出番号	第 27 号	会派代表者	経理責任者
5年 11 月 27 日 起票			
支出科目	旅費精算		
支出額	0 -		

1 出張者内訳	出張者氏名	旅 費 金 額												
		精算前	精算後	差 額										
	高松大樹	149,070	149,070	0										
	2													
	3													
	4													
	5													
	6													
	7													
	8													
	9													
	10													
2 用 務 先	栃木県宇都宮市													
3 出張期間	5 年 10 月 31 日から 11 月 2 日 (2泊 3日)													
4 旅 費	<table border="0"> <tr> <td>概算額</td> <td>149,070</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>精算額</td> <td>149,070</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>差 額</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> </table>					概算額	149,070	円	精算額	149,070	円	差 額	0	円
概算額	149,070	円												
精算額	149,070	円												
差 額	0	円												
5 用務内容	中核市サミット2023in宇都宮													
6 特記事項 (変更理由)	出張命令書兼支出調書 支出番号 第23号													

総務課長 殿

会派名 無所属

氏 名 高松 大樹



旅 費 (変 更) 計 算 依 頼 書

下記のとおり調査研究活動のため出張いたしますので旅費計算をお願いいたします。

記

日 程	令和5年10月31日 ～ 令和5年11月2日
出張者	高松 大樹
用務地	栃木県宇都宮市 (11月1日 13:00～17:00)
用務内容	中核市サミット2023 in 宇都宮

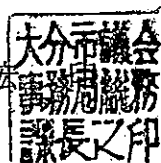
旅 費 計 算 書

経 路	10月31日 大分-大分空港-羽田空港-京急蒲田-品川-東京-宇都宮 11月2日 宇都宮-東京-品川-京急蒲田-羽田空港-大分空港-大分		
旅費内訳	交通費	109,170	円
	宿泊料	30,000	円
	日 当	9,900	円
	計	149,070	円
			航空運賃として 91,160円

上記のとおり通知いたします。

令和5年10月6日

総務課長 岡村 吉宏



		日当	宿泊	乗換案内の 交 通 費
10/31	大分市→宇都宮市	3,300	15,000	54,470
11/1	宇都宮市	3,300	15,000	
11/2	宇都宮市→大分市	3,300	—	54,700
		9,900	30,000	109,170

一人当たり旅費合計

149,070

※大分-大分空港間のエアライナーについては、2枚券を利用する

※ 11月1日の用務に間に合わないため、前泊とする。

※ 11月1日の用務終了後、22時頃までに帰る便に間に合わないため、後泊とする。

乗換案内
Biz

Copyright © 2023 Jorudan Co., Ltd. All Rights Reserved. ヘルプ

詳細路線図 簡易路線図 バス路線図 住所 主要施設

大分

大分空港

羽田空港

品川

東京

宇都宮

検索

駅名リセット

駅名入れ替え

2023年10月

31日

9時 0分

●発 ○着

時刻表も検索

往復割引

グリーン席

同一バス会社検索

大分 ~ 宇都宮 2023年10月31日 09時00分発 決定

経路	評価	時間	54,970 切符 / IC	乗換	距離
1 早安楽飛寝	10:35-16:04(5時間29分)	54,720円	4回	—	—
2 早安楽飛寝	10:35-16:25(5時間50分)	54,920円	5回	—	—
3 早安楽飛寝	17:31-6:52(13時間21分)	55,270円	4回	—	—
4 早安楽飛寝	10:35-16:25(5時間50分)	52,580円	4回	—	—
5 早安楽飛寝	10:35-16:48(6時間13分)	52,780円	5回	—	—
6 早安楽飛寝	17:31-6:52(13時間21分)	53,130円	4回	—	—

経路1

経路 定期代

経路	切符 / IC	料金	乗車位置	距離	情報
10/31 大分／大分駅前					
10:35-11:45 70分	エアライナー[K](大分空港行)	1200 (2枚キップ) 5,550円			
(40分) 大分空港					
12:25-14:00 95分	JAL668便	45,580円	フレックス	803.0km	※
(24分) 羽田空港／羽田空港第1・第2ターミナル			1・2番線発		
14:24-14分	京急空港線エアポート快特(成田空港行)	300円	やや前	6.5km	※
直通 京急蒲田					
-14:38	京急本線エアポート快特(成田空港行)	↓		8.0km	
(8分) 品川			2番線着 13番線発		
14:46-14:53 7分	横須賀線(君津行)	1,980円	1・4・7・10号車	6.8km	※
(19分) 東京			総武3番線着 23番線発		
15:12-16:04 52分	なすの261号(E5/H5系)(郡山行)	↓ グリーン席 5,310円		109.5km	
宇都宮			1番線着		

乗換案内 Biz

Copyright © 2023 Jorudan Co., Ltd. All Rights Reserved. ヘルプ

詳細路線図 簡易路線図 バス路線図 住所 主要施設

宇都宮

東京

品川

羽田空港

大分空港

大分

検索

駅名リセット

駅名入れ替え

2023年11月

2日

9時 10分

◎発 ○着

時刻表も検索

往復割引

グリーン席

同一バス会社検索

宇都宮 ~ 大分 2023年11月02日 09時10分発

決定

経路 評価 時間 54,700 切符/IC 乗換 距離

1 早安楽飛寝 9:59-14:58(4時間59分) 54,950円 4回

2 早安楽飛寝 9:36-16:52(7時間16分) 61,110円 5回

3 早安楽飛寝 9:36-16:52(7時間16分) 61,280円 6回

4 早安楽飛寝 9:59-14:58(4時間59分) 52,810円 4回

経路1

経路 定期代

経路	切符/IC	料金	乗車位置	距離	情報
11/02 宇都宮			4番線発		
9:59-10:48 49分	つばさ128号(東京行)	新時刻表 1,980円	グリーン席 5,510円	13・14号車	109.5km ※
(10分) 東京			21番線着 5番線発		
10:58-11:11 13分	山手線外回り	JR時刻表 ↓	6・9号車	6.8km	
(4分) 品川			3番線着 1番線発		
11:15-11:24 9分	京急本線特急(羽田空港第1・第2ターミナル行)	私時刻表 330円		8.0km	※
直通(1分) 京急蒲田			1番線着 1番線発		
11:25-11:36 11分	京急空港線特急(羽田空港第1・第2ターミナル行)	私時刻表 ↓		6.5km	
(34分) 羽田空港第1・第2ターミナル/羽田空港			1・2番線着		
12:10-13:45 95分	JAL665便	飛時刻表 45,580円	フレックス	803.0km	※
(15分) 大分空港					
14:00-14:58 58分	エアライナー[X](大分新川バスセンター行)	飛時刻表 1,550円 300 (2721.7)			
大分駅前/大分					



JAPAN AIRLINES



領 収 書

RECEIPT

1006415757

下記の金額正に領収致しました。

RECEIVED FROM

高松 大樹

様

印紙税申告納
付につき品川
税務署承認済

THE SUM OF

¥ 91,160 -

(税込10% TAX INCLD10%)

但し 運賃 / 料金として
IN PAYMENT OF AIR FARE-FREIGHT航空券番号
TICKET NUMBER

1312478110407

関連航空券番号
OTHERS

発券日
DATE OF ISSUE

2023年 10月 10日

備考
REMARKS

クレジット(JL)

¥ 91,160

(ご注意) 適格請求書をお求めの方は、領収書に「課税資産の譲渡等を行った年月日(実搭乗日)」の記載はされませんので、搭乗日の記載があるeチケットお客さま控えなどを併せて保管ください。
(Note) If you require a qualified invoice, as "date of transfer of taxable assets (actual boarding date)" will not be indicated on the receipt, please keep your e-ticket receipt, etc. that shows boarding date.

発行：日本航空株式会社

T7010701007566

OITPT

2023年10月31日

5年11月3日

会派代表者 殿

出張報告書

5 年 10 月 31 日 から 11 月 2 日 まで出張しましたので、
下記のとおり報告します。

会派名 無所属

報告者 高松大樹

1 出張先	栃木県宇都宮市	
2 用務	中核市サミット2023in宇都宮	
3 出張者氏名	1 高松大樹	6
	2	7
	3	8
	4	9
	5	10
4 研修調査等の内容	別紙のとおり	

行政視察報告書

視察日 令和5年10月30日～11月2日

出張者 高松大樹

用務地 栃木県宇都宮市

用務内容 中核市サミット2023 in 宇都宮

概要

開会式

13:00～13:30

1 主催者歓迎挨拶 中核市市長会会長 福島市長 木幡 浩

2 開催市歓迎挨拶 開催市市長 宇都宮市長 佐藤 栄一

3 来賓祝辞 総務省自治行政局長 山野謙様

中核市市長会相談役 一般社団法人 地方積協会会長 香山充弘様

中核市とともに地方分権を推進する国会議員の会 世話役会長 衛藤 征士郎様

栃木県福知事 北村 一郎様

4 講師・来賓紹介

「基調講演講師」早稲田大学理工学術院創造理工学部教授 森本章倫様

5 コーディネーター・コメンテーター紹介

「第一会場コーディネーター」宇都宮大学地域デザイン科学部准教授 石井大一郎様

「第一会場コメンテーター」宇都宮共和大学子ども生活学部教授 蟹江教子様

「第二会場コーディネーター」早稲田大学理工学術院先進理工学部教授 林泰弘様

「第二会場コーディネーター」早稲田大学理工学術院創造理工学部教授 森本章倫様

6 役員市長会

基調講演 未来世代に向けた交通と都市計画

13:35～14:35 講師 早稲田大学理工学術院 創造理工学部教授 森本章倫様

パネルディスカッション

14:50～16:10

第一会場 子どもを守り「未来世代につなぐ」まちづくり

「コーディネーター」宇都宮大学地域デザイン科学部准教授 石井大一郎様

「コメンテーター」宇都宮共和大学子ども生活学部教授 蟹江教子様

「パネリスト」いわき市長、岐阜市長、豊中市長

第二会場 脱炭素化で「未来世代につなぐ」まちづくり

「コーディネーター」早稲田大学理工学術院 先進理工学部教授 林泰弘様

「コメンテーター」早稲田大学理工学術院 創造理工学部教授 森本章倫様

「パネリスト」岡崎市長、奈良市長、松江市長、宇都宮市長

全体会議・閉会式

- 16:25～17:00
- 1, コーディネーターによるパネルディスカッションの報告等
 - 2, サミット宣言（宣言文起草、提示、採択、宣言）
 - 3, 次回開催市挨拶 秋田市長 穂積 志様
 - 4, 閉会挨拶 中核市市長会副会長 山形市長 佐藤孝弘

所感

宇都宮市長は脱炭素化に関するパネルディスカッションで、LRT が開業1か月で42万人利用されている状況などを報告し、さらにLRTへの再生可能エネルギー活用、バス、タクシーの電気自動車化支援などの事例を紹介し「もったいないの」気持ちで生活してもらい、カーボンニュートラルを緩やかに着実に進めているとのことでした。要は、市民、企業を巻き込むことだと強調していました。基調講演やパネルディスカッションの議論を踏まえ、中核市サミットの宇都宮宣言を採択しました。子育てしやすい環境づくりや子どもの権利の保障、環境、エネルギー問題に対応した取り組みなどを挙げ、持続可能なまちづくりを推進することで、夢や希望がかなう中核市を目指していくと確認し合った。活力のある地域・暮らしやすい社会を目指して今後も取り組んで参ります。

旅費精算兼旅行命令変更書

支出番号	第 28 号	会派代表者	経理責任者
5 年 11 月 20 日 起票			
支出科目	旅費精算		
支出額	0 -		

1 出張者内訳	出張者氏名	旅 費 金 額			
		精算前	精算後	差 額	
	高松大樹	28,890	28,890	0	
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
2 用務先	益城町				
3 出張期間	5 年 11 月 21 日から 11 月 22 日 (1 泊 2 日)				
4 旅 費	概算額 28,890 円				
	精算額 28,890 円				
	差 額 0 円				
5 用務内容	先進建設・防災・減災技術フェアin熊本2023				
6 特記事項 (変更理由)	出張命令書兼支出調書 支出番号 第26号				

総務課長 殿

会派名

無所属

氏 名

高松 大樹



旅 費 (変 更) 計 算 依 頼 書

下記のとおり調査研究活動のため出張いたしますので旅費計算をお願いいたします。

記

日 程	令和5年11月21日 ～ 令和5年11月22日
出張者	高松 大樹
用務地	益城町 ① (11月21日 12:50～13:50) ② (11月21日 14:20～15:20) ③ (11月21日 15:30～16:30) ④ (11月22日 10:20～11:20) ⑤ (11月22日 12:50～13:50) ⑥ (11月22日 14:30～15:30)
用務内容	先進建設・防災・減災技術フェアin熊本2023 ①「平成28年4月熊本地震の対応と教訓～市民力・地域力を結集した地域防災を目指して～」 ②「豪雨時の状況認識と避難意識の時間的変化」 ③「トヨタ自動車九州30年の歩みとTeam Kyushuへの期待」 ④「熊本城～熊本地震からの復興～」 ⑤ 熊本地震の経験を活かした災害対応力の強化について ⑥「線状降水帯」と二つの気象情報～ 線状降水帯の予測の現状と今後の気象庁の取り組み～

旅 費 計 算 書

経 路	11月21日 大分-新水前寺-味噌天神-グランメッセ前 11月22日 グランメッセ前-味噌天神-新水前寺-大分
旅費内訳	交通費 8,790 円 宿泊料 13,500 円 日 当 6,600 円 計 28,890 円

上記のとおり通知いたします。

令和5年 11 月 10 日

総務課長 岡村 吉宏



		日当	宿泊	乗換案内の 交 通 費
11/21	大分市→益城町	3,300	13,500	5,560
11/22	益城町→大分市	3,300		3,230
		6,600	13,500	8,790

一人当たり旅費合計

28,890

※用務地の益城町内はJRの駅がないため、隣接地の熊本市の直近の駅
新水前寺駅から用務地まではバス利用とする。(片道370円)

詳細路線図 簡易路線図 バス路線図 住所 主要施設

大分

新水前寺

駅3

駅4

駅5

駅6

検索

駅名リセット

駅名入れ替え

2023年11月

21日

8時 0分

●発 ○着

時刻表も検索 ☒往復割引 ☒グリーン席 ☒同一バス会社検索 ☐

大分 ~ 新水前寺 2023年11月21日 08時00分発

決定

経路	評価	時間	切符/IC	乗換	距離
1 早安楽飛寝	8:07-11:14(3時間07分)	5,190円	0回	142.8km	
2 早安楽飛寝	9:13-14:13(5時間00分)	2,860円	3回	142.8km	
3 早安楽飛寝	8:39-12:12(3時間33分)	3,700円	0回	—	

経路1

経路 定期代

経路	切符/IC	料金	乗車位置	距離	情報
11/21 大分					
8:07-11:14 187分	九州横断特急2号(熊本行) 時刻表	2,860円	指定席 2,330円	142.8km	
新水前寺					

↓ 徒歩5分

11:29 味噌曾天神

↓ 空港リムジンバス 370円

11:48 グアムメセ前

5,560円

詳細路線図 簡易路線図 バス路線図 住所 主要施設

新水前寺

大分

駅3

駅4

駅5

駅6

検 索

駅名リセット

駅名入れ替え

2023年11月

22日

16時 0分

●発 ○着

時刻表も検索 ☒往復割引 ☐指定席 ☐同一バス会社検索 ☐

新水前寺 ~ 大分 2023年11月22日 16時00分発

決 定

経路	評価	時間	切符/IC	乗換	距離
1 早 安 楽 飛 寝	9:19-12:20(3時間01分)	5,890円	0回	142.8km	
2 早 安 楽 飛 寝	17:43-22:12(4時間29分)	2,860円	3回	142.8km	
3 早 安 楽 飛 寝	17:43-21:20(3時間37分)	3,700円	0回	—	

経路2

経路	定期代
11/22 新水前寺	
17:43-18:11 28分	豊肥本線(肥後大津行)  時刻表 2,860円
(9分) 肥後大津	
18:20-19:16 56分	豊肥本線(宮地行)  時刻表 ↓
(44分) 宮地	
20:00-20:44 44分	豊肥本線(豊後竹田行)  時刻表 ↓
(3分) 豊後竹田	
20:47-22:12 85分	豊肥本線(大分行)  時刻表 ↓
大分	

出 張 報 告 書

報告者 高松大樹

1 出張先	益城町	
2 用務	先進建設・防災・減災技術フェアin熊本2023	
3 出張者氏名	1 高松大樹	6
	2	7
	3	8
	4	9
	5	10
4 研修調査等の内容		
別紙のとおり		

行政視察報告書

視察日 令和5年11月21日～令和5年11月22日
出張者 高松大樹
用務地 益城町
用務内容 先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本2023
概要

1, 11月21日 12:50～13:50

平成28年度4月熊本地震の対応と教訓～市民力・地域力を結集した地域防災をめざして

2, 11月21日 14:20～15:20

豪雨時の状況認識と避難認識の時間的变化

3, 11月21日 15:30～16:30

トヨタ自動車九州30年の歩みと team Kyushu への期待

4, 11月22日 10:20～11:20

熊本城～熊本地震からの復興

5, 11月22日 12:50～13:50

熊本地震の経験を活かした災害対応力の強化について

6, 11月22日 14:30～15:30

線状降水帯と二つの気象情報～線状降水帯の予測の現状と今後の気象庁の取り組み

所感

予想を超えるような災害が全国で多発する中、「先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本2023」の開催に参加して、改めて災害への備えの大切さと対応力を高めることへの重要性を強く認識しました。熊本市で本年1月に実施した市民アンケートでは、6割以上の方が記憶や教訓を忘れがちになっていると回答されており、熊本地震に対する皆様の関心も薄れつつあるように感じているとのことでした。熊本県では、災害時の指令拠点となる熊本県防災センターの整備を進め、本年5月に運用開始し、また7月には熊本地震の経験、教訓を風化させずに後世に伝えていくための、熊本地震震災ミュージアム体験・展示施設「KIOKO」がオープンしたそうです。大分市では、南海トラフ巨大地震で津波による被害が懸念される大分市の沿岸部に、地元の住民が命を守る避難先となる人工の高台が完成し

ました。高台は、別府湾に面した大分市の家島地区に整備され家島命山と名付けられました。この地区は南海トラフを震源とする巨大地震が起きた場合の津波の高さが最大3.6メートルと予想されていますが、沿岸部は標高が2メートルから4メートルしかなく、周囲に津波避難ビルや高台も少ないため、市が2億1,500万円をかけて整備しました。事前の対策として、生活環境における地震や水害等の災害リスクを想定し、自分の命は自分で守る自助と地域は地域で守るという共助の備えが大切だと思います。具体的には、自分と家族の命を守るべく自宅の周辺に潜む災害リスクを知ると共に、自治会などの身近な地域コミュニティ単位で、地域に潜む危険を認識し、安全な避難の仕方などの検討を行うとともに、災害時には迅速に避難できる体制を確立すべく避難訓練などを行うことが重要だと思います。市民一人ひとりの防災意識を向上させ、救える命を救う取り組みが促進されるように今後とも取り組んで参ります。